

令和5年10月18日

# お知らせ

課名	政策推進課	統計分析課
担当	山辺、柴田	宮木、竹本
内線	2097、2100	2141、2145
直通	086-226-7866	086-226-7258

## 岡山県が「第8回 地方公共団体における統計データ利活用表彰」の統計局長賞を受賞しました

総務省が主催する上記表彰において、本県が令和3年度から令和4年度にかけて実施した「調査用封筒の切り替えに向けた検証」が、岡山県として初めて受賞しましたのでお知らせします。

### 記

#### 1 表彰の概要

客観的な統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、総務省が平成28年度から行っています。審査を経て、総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞が選ばれます。

#### 2 受賞団体及び岡山県の取組概要

別紙のとおり（令和5年10月18日総務省報道発表資料）

## 「第8回 地方公共団体における統計データ利活用表彰」の受賞団体及び 「統計データ分析コンペティション2023」の受賞者の決定

総務省では、統計データを活用した行政施策の立案や行政サービスの改善等の優れた取組を進める地方公共団体に対し、「地方公共団体における統計データ利活用表彰」を行っています。

また、高校生、大学生等の統計の有用性への理解と統計データの利活用拡大のため、独立行政法人統計センター等と協力して、「統計データ分析コンペティション」を実施しています。

この度、各取組における総務大臣賞等が決まりましたので、お知らせします。

### 1 Data StaRt Award ～第8回地方公共団体における統計データ利活用表彰～

#### <概要>

客観的な統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、平成28年度から行っています。審査の結果選ばれた、総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞は次のとおりです。

#### <受賞団体及び受賞取組>

##### 【総務大臣賞】

富山県

「主観的・多面的・持続的な「ウェルビーイング（well-being）」を捉える指標の策定と向上施策の展開」

##### 【統計局長賞】

岡山県

「調査用封筒の切り替えに向けた検証」

##### 【特別賞】

大阪府豊中市

「市政データ利活用で企業立地促進施策の効果検証を可視化」

兵庫県神戸市

「EBPMで創る人口戦略」

長崎県

「「つながる長崎」データ連携基盤整備事業」

## 2 統計データ分析コンペティション 2023

### <概要>

高校生、大学生等の統計の有用性への理解と統計データの利活用拡大のため、総務省、独立行政法人統計センター、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所及び一般財団法人日本統計協会の共催により、平成30年度から実施しています。審査の結果選ばれた、総務大臣賞、優秀賞、統計数理賞、統計活用奨励賞、審査員奨励賞及び学校表彰は次のとおりです。

### <高校生の部：受賞者及び受賞論文>

#### 【総務大臣賞】

杉山 輝恵（愛知県立岡崎高等学校）  
「生活の形態と女性の社会進出」

#### 【優秀賞】

鈴木 実由（慶應義塾湘南藤沢高等部）  
「大腸がん罹患要因の探究と罹患しにくい生活の提案」

#### 【統計数理賞】

柏原 昊隼、田原 睦己、大西 裕貴（雲雀丘学園高等学校）  
「地価に関する最適モデルの構築と手法提案」

#### 【統計活用奨励賞】

衣川 凌太、中島 琉士、穂積 佑季、丸山 晃平、盈 優真（兵庫県立姫路西高等学校）  
「独自指標作成による地方創生の方法論と兵庫県活性化の提案」

### <大学生・一般の部：受賞者及び受賞論文>

#### 【総務大臣賞】

廣野 准貴、藤井 優菜、山下 航、吉本 正崇（南山大学総合政策学部総合政策学科）  
「小中学生の不登校率における環境要因分析」

#### 【優秀賞】

菊地原 守（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）  
「市町村費負担教員任用の規定要因—ハードルモデルを用いた多変量解析から—」

#### 【統計数理賞】

宮部 美月、戴 士淵（日本電子専門学校 AI システム科）  
「CO<sub>2</sub>排出特性と地域特性の関係—2050年カーボンニュートラルの実現に向けて—」

#### 【統計活用奨励賞】

井手 健太（法政大学大学院経済学研究科/東京都総務局統計部調整課）  
山口 真菜（東京都総務局統計部調整課）  
「行動制限下における家計消費の変化に伴う経済波及効果の算出」

### <審査員奨励賞：受賞者及び受賞論文>

#### 【高校生の部】

大池 一葉（愛知県立一宮高等学校）  
「日本人の英語能力の実態とその背景～諸外国と比較して～」

清水 幹太郎（早稲田実業学校高等部）  
「都道府県ごとの学力の差」

堀 くるみ（愛知県立一宮高等学校）  
「熱中症を防ごう！」

三島 光太郎、石井 沙英、岸本 理央、宮本 賢一郎、八木 琳太郎（兵庫県立姫路西高等学校）

「海水温からの降水量予測を目指して」

水野 怜（愛知県立一宮高等学校）

「日本の食料自給率を上げるために」

宮川 航、三笠 心菜、百瀬 泉里、山本 祐生、安岡 和希（兵庫県立姫路西高等学校）

「兵庫県の宝「いかなご」を守る」

#### 【大学生・一般の部】

大河内 菜月（東海大学大学院理学研究科）

「パネルデータを用いた進学と就職時による人口流出の要因分析」

薫田 千雪、高橋 希帆（千葉工業大学先進工学部知能メディア工学科）

「変数重要度に着目したクラスタリングによる社会構造と睡眠時間の関係性の解析」

門田 直道（宮崎県教職員 高等学校英語科教諭）

「英語教育実施状況調査をエビデンス生成に繋げるための探究」

～二項ロジスティック回帰モデルの係数解釈による英語力の地域間比較～

出川 朋佳、近藤 七海、玉木 由梨、山本 桃子（東洋英和女学院大学国際社会学部国際社会学科）

「都道府県別のパネルデータを用いた合計特殊出生率の決定要因

—地域差と女性の時間選択がどう影響しているか—

富張 聡祥（東京大学理学部情報科学科）

「市区町村ごとの失業率の要因分析」

平澤 未羽、鈴木 陽翔、木村 美穂、白川 杏南、NGUYEN THI MINH QUY（青森中央学院大学経営法学部経営法学科）

「子ども・子育て支援の充実は合計特殊出生率を高めるか？

—47 都道府県パネルデータを用いた実証分析—

#### <学校表彰>

愛知県立一宮高等学校

慶應義塾湘南藤沢高等部

雲雀丘学園高等学校

兵庫県立姫路西高等学校

早稲田実業学校高等部

### 3 資料の入手方法

詳細については、以下の URL からダウンロードできます。

- ・ Data StaRt Award ～第8回地方公共団体における統計データ利活用表彰～  
[https://www.stat.go.jp/guide/public/rikatsuyou/pdf/ho231018\\_ref.pdf](https://www.stat.go.jp/guide/public/rikatsuyou/pdf/ho231018_ref.pdf) (総務省統計局ホームページ)
- ・ 統計データ分析コンペティション 2023  
<https://www.stat.go.jp/dss/pdf/2023award.pdf> (総務省統計局ホームページ)

(連絡先)

**【全体に関する問合せ】**

統計局統計情報利用推進課

担当：辻元課長補佐 吉川統計専門官 石田係長 栗山主査

電話：03-5273-1023 (直通)

E-mail: y-senryaku\_atmark\_soumu.go.jp

**【「地方公共団体における統計データ利活用表彰」に関する問合せ】**

統計局統計データ利活用センター

担当：丸山センター長補佐 林主査

電話：073-425-0205 (直通)

E-mail: data-rikatsuyou\_atmark\_soumu.go.jp

**【「統計データ分析コンペティション」に関する問合せ】**

独立行政法人統計センター技術研究開発課

担当：仲西統計専門職

電話：03-5273-1368 (直通)

E-mail: statcompe\_atmark\_nstac.go.jp

※スパムメール防止のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しています。  
送信の際は「@」に変更してください。

# Data StaRt Award

## ～ 第8回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」～

### 受賞団体

地方公共団体名	取組名及び取組概要
【総務大臣賞】 富山県	<b>主観的・多面的・持続的な「ウェルビーイング（well-being）」を捉える指標の策定と向上施策の展開</b> 県民意識調査を実施し、多様な県民の意識をウェルビーイングの観点から可視化。調査結果をもとに、独自の「ウェルビーイング指標」を策定したほか、これらのデータを活用し、県民起点のきめ細かな政策展開に繋げていく。
【統計局長賞】 岡山県	<b>調査用封筒の切り替えに向けた検証</b> 県民を対象としたアンケート調査を題材に、回収率を維持しつつ、経費節減となるように、大型封筒から小型封筒へ切り替えても効果が変わらないか検証した。検証に当たっては、専門家の助言を得つつ、非劣性試験の手法を用いて実施した。
【特別賞】 大阪府豊中市	<b>市政データ利活用で企業立地促進施策の効果検証を可視化</b> データ利活用で企業立地促進施策を可視化。4年間で固定資産税増収約2億円、産業集約効果も確認できた。
【特別賞】 兵庫県神戸市	<b>EBPMで創る人口戦略</b> 人口減少の「抑制」と「適応」の2つの視点に基づく人口戦略をテーマに、「R」を使った重回帰分析により人口増に寄与する要因の分析を行ったほか、神戸市独自の将来人口推計や人口減少と公共サービスを重ねてみるダッシュボードを作成し共有することで、人口規模に応じた行政サービスを俯瞰的にみて議論することが可能になった。
【特別賞】 長崎県	<b>「つながる長崎」データ連携基盤整備事業</b> 長崎県のほか、県内企業、金融機関、農業・水産・商工など様々な業界団体や有識者、県内全21市町で「ながさきSociety5.0推進プラットフォーム」を立ち上げ、協議しながら事業を推進している。

# 【統計局長賞】

## 岡山県

## 調査用封筒の切り替えに向けた検証

- ✓ 回収率を維持しつつ、経費節減となるように県民アンケートにおいて検証を行った。検証に当たっては、専門家の助言を得つつ、非劣性試験の手法を用いて実施した。

### 課題・きっかけ

- 県民を対象としたアンケート調査において、大型封筒を使用しており、コストがかかっていた。
- アンケート調査に係る事業費の削減を受け、回収率を維持したまま、更なる予算削減への対応を検討する必要があった。

### 得られた結果と展望

- 効果が「変わらないか」というこれまでの行政にはなかった経験を得ることができた。
- 非劣性試験を用いて「効果が変わらない」検証を行うことは、他分野でも応用可能であり、庁内での横展開を進める。

### 検討過程

- **従前の調査方法**  
18歳以上の県民2,500人を無作為抽出し、調査票を角2の大型封筒で郵送
- **令和3年度 検討・検証した調査方法**  
小型封筒の回収率が大型封筒に劣らないかを、非劣性試験の手法で確認した（非劣性マージン 7%で設定）。大型封筒の統制群と小型封筒の介入群の2群に分け発送したところ、回収率の差は、95%信頼区間で 8.01%~0.97%となり、小型封筒が大型封筒に劣っていないとは言い切れないと結論付けた。
- **令和4年度 再検討・検証した調査方法**  
再検証に向け、小型化により郵便物に埋もれてしまうこと、小型化により重要性が伝わらず開封してもらえないという課題があると仮定した。再検証では、小型封筒の色を黄色に変更し、その他の条件は変えずに発送したところ、回収率の差は、95%信頼区間で 1.68%~7.30%となり、黄色の小型封筒は大型封筒に劣らないという結果を得た。



検証に用いた封筒の比較